

愛媛県側9つの自治体と大分県側9つの自治体で新たな経済圏の循環などを目的に相互交流を図っており、その一環として、お互いの広報誌の相互掲載を行っています。
今回は「臼杵市」です。海の向こうに目を向けてみましょう。



「さいき」って…?

佐伯市は、大分県南東部に位置し、九州で一番広い面積をもつまちです。九州山地から広がる山間部、番匠川下流に広がる平野部、リアス海岸の続く海岸部に大きく分けられ、温暖な気候を利用した農業、豊富な森林資源を背景にした林業、豊後水道の恵みを生かした水産業を育てています。



佐伯市

佐伯ごまだし大将



人口：68,543人
(R3.10.31 現在)
面積：903.14km²

佐伯市の郷土料理
「ごまだしうどん」
イメージキャラクター

佐伯
×
音で
感じる

進水式

ドドド♪



造船のまちともいわれる佐伯の進水式は、船の誕生を祝い、航海の無事を祈る壮大な儀式。巨大な船が轟音とともに水しぶきをあげ、ゆっくりと海に進水していく様子は迫力があり圧巻です。

ラララ〜♪

さいき城山桜ホール



文化交流発信の場として誕生したホールは子どもたちの歌声の発表の場としても活用されています。「こども・市民ミュージカル」では、子どもたちの芸術を愛する心を育て、元気なまちづくりを発信しています。

五感で感じる佐伯の魅力

SAIKI



佐伯
×
香り
で
感じる

香ばしい香り

干物

豊後水道を中心とした近海の海で揚がる鮮魚が、高い技術を活かして加工されており、脂がのって旨みが濃縮された干物ができあがります。干物を七輪で焼くと、ジュージューと音が上がり、潮の香りをたっぷり含んだ香ばしい香りが立ち込めます。



ほし 乾シイタケ

風味豊かな香り

佐伯市宇目地区を中心とした山あいでは、原木シイタケの栽培が盛ん。肉厚のシイタケは風味が高く、乾燥させることでさらに香りもうまみもアップします。

〈問い合わせ〉
佐伯市政策企画課
☎0972-22-4104

SNSで旬な話題を発信中!



Twitter



Instagram



LINE



facebook